

台風で被災された方々に、ぬくもりを届けるプロジェクト（仮称）企画案

趣旨 台風と水害で被災された地区では、水に浸かった家財や泥の運び出しニーズがひと段落しつつある中、各地の災害ボランティアセンターの活動も変わり目を迎えています。被災された方々は、これから、どう家と生活を立て直していけばいいか、という悩みや戸惑いの中で寒い冬を迎えます。そんな方々に少しでも心が温まる時間を届け、心に寄り添いたいと思います。

ぬくもりサロンで実現したいこと

- ・被災された地区の集まりやすい場で、足湯、炊き出し、マッサージなどを行い、地域の人同士が今後のことを話せる時間をつくる。
- ・生活再建に役立つ情報を届け、何に困っているかを聴き、どうしたらいいか共に考える

活動に向けたステップ

現地準備チーム（市町毎）

- 1 被災地区のどの集会所で、いつ、行うか、区長さんと相談
- 2 住民の方向けのチラシ作成と配布
- 3 サロン協力者への情報提供準備
(集会場の電源、水道、トイレの確認、集会場までの道案内、駐車場、会場配置図作成)

地元社協

- (区長さん声掛け)
- 応援社協スタッフ、
地元協力者で現地
準備を担当

ぬくもりサロン準備チーム（県域）

- 1 足湯班
足湯講習会開催と機材準備
(湯沸かし器具、やかん、たらい、タオル)
- 2 炊き出し班
(カレーなど、器と橋、ポットとお茶、菓子)
- 3 マッサージ班、各種相談班
- 4 物資班 (ストーブ、電気毛布など)

全体調整（県社協とコモンズ）

- ・サロン実施地区の情報と、協力団体がいつ何ができるかの情報集約、協力団体の募集
- ・各地区でいつ行うか、そのサロンにはどの団体が協力するか、の割り振り、各班への情報伝達
- ・各会場で使う機材の搬入準備 (テント、机、いす、ストーブ、発電機など)

サロン当日の運営 参加人数は30~40人を想定)

- 10:00~11:00 現地集合 (会場設営 テント4、机10、椅子設置40 湯沸かしなど)
- 11:30~14:00 サロン運営 (炊き出し、足湯、マッサージ、相談)
- 14:00~15:00 聴いた話の共有、地元社協や行政に伝えることや自分たちができる活動の話し合い
- 15:00~15:30 会場片付け、荷物搬出、解散

サロンの後の取り組み

各会場できいた悩みをもとに、被災地区、地元社協、行政と連携して必要な活動をチーム全体で検討実施する。(例、相談会、物資提供、外出や引っ越しの支援、継続的なサロンなど)